

OS交配

●ハウス● 1月～8月播き ◎半促成・雨よけ・夏穫り・抑制

キュウリ

かっぱん
強し

ちなつ

品種登録
第20794号

褐斑病に強く、尻コケ・尻太果の発生が極少ないツヤ系品種



暑い時でも、果形の
安定性ととも高い
鮮緑で光沢良好
歯切れ良く食感良好



株式
会社

埼玉原種育成会



OS 交配 **ちなつ**

特性と栽培のポイント

特性

- ① 褐斑病に強く、過繁茂になりにくいすつきりとした受光性の良い草姿。
- ② 果形の安定性がとても高く、鮮緑で光沢良好。
- ③ 歯切れ良く、食感良好。

| | |
|-------|--|
| 播種期 | 1月～8月播き 半促成 雨よけ 夏穫り 抑制 |
| 雌花着生 | 主枝は、1月～5月播きで50%～70%、6月～8月播きで20%～40%。 側枝は、雌花の連続性はかなり高くなる。1～2果成り。 |
| 収量 | 果実肥大早く、安定した草勢により長期に亘り秀品多収。 |
| 草姿・草勢 | 葉は水平に展開し、過繁茂になりにくいすつきりとした受光性の良い草姿である。 長期に亘ってスタミナが維持される。 |
| 果実 | 100gで20～21cm。首から尻までよく整い尻コケ・尻太果が極少ない。 鮮緑で光沢極良好。トゲは中位。歯切れ良く食感良好。 |
| 耐病性 | 特に褐斑病に対して強い耐性を持つ。 |

栽培のポイント 収穫までは、遅れずに摘む。最盛期以降は半放任とする。

育苗

- ・鉢育苗ではリン酸を含む腐植の多い良質床土を準備する。定植時に鉢土が崩れない程度の育苗日数をとる。
- ・最適台木は、OS交配ゆうゆう一輝(黒タイプ)が良く、高い生産力を発揮させる。

植え付け本数

- ・節成り性が高い品種であるが、あまり密植しない事がコツとなる。3.3㎡あたりなら4～4.5株程度。

施肥

- ・元肥は、量や質を一般に準じて良い。バランスの良い肥効が、その後の草勢や品質・収量に影響するので、必ず施用前には土壤検定による施肥設計を行うと良い。
- ・追肥は、通常早めが良い。生育振りにも依るが収穫しようとする果実の開花より4～5日後、抑制では主枝の摘芯時等が追肥始めの目安となる。10aあたりN成分で1kg位を5～7日おきに施用すると良い。

灌水

- ・定植2～3日前に十分灌水しておき、定植当日に土中水分の過不足がないように準備する。定植後乾き易い抑制では、根量が増え日々生長が活発になってくるまでは多めの灌水をする。各作型とも旺盛に生育できるよう活着後も水を余り切らさず、順調に側枝が発生し葉の展開がスムーズに行くよう適宜灌水していく。

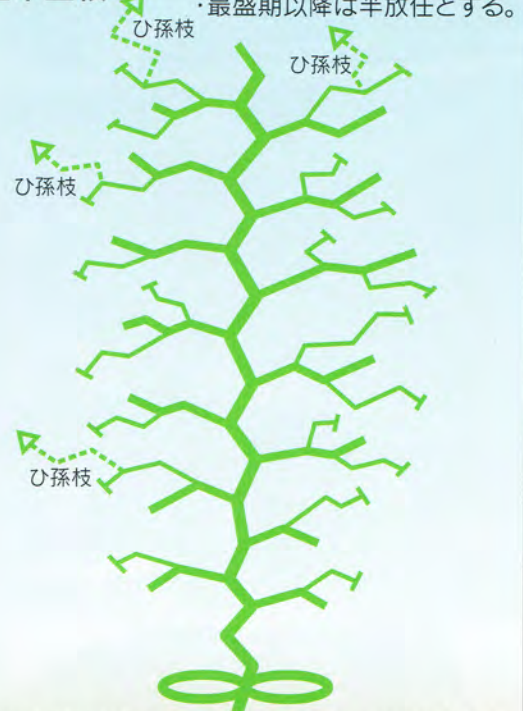
摘葉

- ・収穫最盛期を過ぎる頃から、古い日陰葉や込み過ぎた部位を一回あたり1～2枚を限度として摘葉すると良いが、常に全体に亘り収穫果が見え隠れする程度に整える。

整枝法

- ・整枝は、強摘芯・摘み遅れを避けて、収穫最盛期以降は伸び続ける枝を4～6本確保し続けると良い。

基本整枝



側枝は下節位を1節、中上位節を1～2節で摘み、順次発生する孫枝も1～2節で摘み、その後の草勢に応じてひ孫枝から半放任とする。

※収穫後半の低温期は、夕方から前夜半をやや高めに管理する。



きゅうり・かぼちゃ・メロン 育成元
株式会社 **埼玉原種育成会**
〒346-0105 埼玉県久喜市菖蒲町新堀2616
TEL.0480(85)0854(代) FAX.0480(85)0407



OS交配種子 発売元
株式会社シード
〒346-0105 埼玉県久喜市菖蒲町新堀2616
TEL.0480(85)7211(代) FAX.0480(85)0407